

# ロボットが いらっしやいませ

木津川のイオンで実証実験



音声やジェスチャーで来店者を案内する  
ロボット（木津川市相楽台・イオン高の  
原ショッピングセンター）

京都府精華町光台の国  
際電気通信基礎技術研究  
所（ATR）は二十三日  
から、木津川市相楽台の  
大型複合商業施設「イオ  
ン高の原ショッピングセ

ンター」で、来店者をジ  
ェスチャーや音声で案内  
するロボットの实証実験  
を始めた。  
実験では、社会に受け  
入れられるロボットの实

現に向け、「顔見知り感」  
や親しみを感じる人とロ  
ボットのコミュニケーション  
の可能性を探る。  
実験のモニターには、  
その人の名前やニックネ

ームなどの情報が入った  
ICタグを配布。モニタ  
ーが来店時、タグをロボ  
ット胸部のタグリーダー  
に近づけると、その人の  
名前やニックネームを呼

び、案内する。

実験期間中、ロボット  
と話す機会が増えると、  
ロボットは「また来てく  
れたんだね」など以前  
案内した内容や対話履歴  
に従って話し方を変える  
ため、人に親近感などを  
与えるようになってい  
る。

ICタグを持っていな  
い人でも、ロボットに近  
づくとき、床の圧力センサ  
ーと目のカメラで人を認  
識し、施設や店舗を案内  
する。

実験は、八月三十一日  
までの午後一―五時（土  
・日曜と八月十三―十七  
日は除く）に実施の予定。